

2018年8月31日

課題名：術後胆汁瘻に対する内視鏡治療に関する単施設後ろ向き研究

◆研究の目的と概要◆

術後胆汁瘻は肝・胆道手術後に起こる合併症の一つであり、改善が期待出来ない症例では胆道ドレナージによる治療が必要になる。内視鏡を用いたドレナージは早期の治癒が期待できる治療とされている。今回術後胆汁瘻に対する内視鏡治療の実態を明らかにするため研究を行うこととした

◆対象となる患者さん◆

2010年7月～2018年4月に当院で術後胆汁漏に対して内視鏡的ドレナージを施行された方

◆研究に使用される情報

内視鏡施行日、年齢、性別、診断、術者、原因となった術式、内服歴、手術歴、総処置時間、挿管時間、挿管法、乳頭処置の方法、胆道ドレナージの方法、使用スコープ、治療回数、入院日数、偶発症

◆研究方法◆

本研究は電子カルテに記載された情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
消化器内科 研究責任者 石川 将  
E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)  
(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明